学校番号	T0207

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	書道Ⅰ（光村出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、課題に対して自ら理解し、率先的に取り組む活動を行う。参考書や資料をもとに、理解する力、見る力、表現する力を養い、書くことの楽しさを実感してもらう。参考書や資料をもとに、理解する力、見る力、表現する力を養い、書くことの楽しさを実感してもらう。ただ書くのではなく、それぞれの時代背景や当時の文化なども考え、書や篆刻を通して自己表現ができることを目標とする。

2　学習の到達目標

幅広い書道の表現活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心身を育てるとともに書写能力の向上を図り、書の伝統と文化について理解を深め、書を身近で鑑賞し楽しむ心を育てる。 書のみに限らず、芸術を鑑賞し、楽しみ感動する感性を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ワークシートなどを使い、きちんと理解できているかを判断する。 技能においては指導した通りに書くことができるか、古典の臨書など通して評価する。	自ら構想し、それらを表現できているかを判断し評価する。臨書だけではなく創作することによって文字の美を吸収してほしい。	書いた作品を書きっぱなしではなく、自分の作品を見比べ どこが良くてどこが悪いのかを自分である程度理解してもらう。また、自分の作品だけでなく、他生徒の作品とも 見比べ、互いに向上心を持って取り組んでもらう。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	書写から書道	書写から書道へ 書写と書道の類似点、相違点　書体の変換 文字に興味を持つ	a:道具の知識・扱い方を理解し、書道 に対する姿勢や執筆法の基本を身に付けている。 b:書写での基礎・基本を踏まえ、様々 な書の良さを味わって課題の中に表現 できている。 c:書写と書道の違いを理解し、意欲的 に取り組んでいる。書写と書道の類似 点・相違点について興味を持っている。	ワークシート 課題 作品	ワークシート 課題 作品	観察
	秋季発表大会	創作 作品制作	a:作品の意図を明確にするための表現 の技能を身につけ表している。 b:各書体のよさを感じ取り、作品の意 図を明確にし、表現を工夫している。 c:文字の選定、作品の構想、完成に至 る創作活動について関心を持ち、表現 や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	作品	作品	観察
	篆刻	篆刻 自分の名前調べ(篆書体) 名前の印の制作 印刀を使っての作業	a:印作りにおいて、安全に作業し、的 確に印刀を使うことができる。 b:篆刻における「分間布白」を理解 し、表現を工夫している。様々な石の 印影を鑑賞し、そのよさや美しさを作 品に表現している。 c:字典を使った名前の篆書体調べを通 じて、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	課題 作品	課題 作品	観察

後期	漢字の書・楷書	漢字の書(楷書) 楷書の理解 古典臨書の活用	a:楷書の基本的な用筆方法について理解している。 b:古典の臨書を用いて、各書で利用す る用筆方法を身につけ表現している。代表的な書体の古典を知り、そのよさ や美しさを表現している。 c:正しい姿勢で、用筆法・スピード・ リズムを考えながら取り組んでいる。	ワークシート 課題 作品	ワークシート 課題 作品	観察
	漢字の書・行書	漢字の書(行書) 行書の理解 古典臨書の活用	a:行書の基本的な用筆方法について理解している。 b:古典の臨書を用いて、各書で利用す る用筆方法を身につけ表現している。 代表的な書体の古典を知り、そのよさや美しさを表現している。 c:正しい姿勢で、用筆法・スピード・リズムを考えながら取り組んでいる。	ワークシート 課題 作品	ワークシート 課題 作品	観察
	漢字の書・硬筆	楷書と行書 ボールペン、万年筆による実用的なもの	a:楷書・行書の表現の違い・基本的な 用筆方法について理解している。 b:ボールペン、万年筆を用いて、各書 で利用する用筆方法を身につけ表現し ている。また、日常生活のあらゆる場 面と構成を考えて書こうとしている。 c:正しい姿勢で、用筆法・スピード・ リズムを考えながら取り組んでいる。	ワークシート 課題 作品	ワークシート 課題 作品	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度